

感染症速報

作成日: 令和 6 年 3 月 29 日

第12週 3月18日 ~ 3月24日

<http://www.pref.nagasaki.jp/department/iki-h/index.html>

状況	定点当り	疾患名	状況	定点当り	疾患名	状況	定点当り	疾患名	状況	定点当り
インフルエンザ	15.0	RSウイルス感染症	0.0	咽頭結膜熱	1.5	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.0			
警報開始30 終息10		警報開始 - 終息 -		警報開始3 終息1		警報開始8 終息4				
感染性胃腸炎	0.0	水痘	0.0	手足口病	0.0	伝染性紅斑	0.0			
警報開始20 終息12		警報開始2 終息1		警報開始5 終息2		警報開始2 終息1				
突発性発しん	0.0	ヘルパンギーナ	0.0	流行性耳下腺炎	0.0	新型コロナウイルス感染症	3.3			
警報開始 - 終息 -		警報開始6 終息2		警報開始6 終息2		警報開始 - 終息 -				

	発生報告なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】
--	--------	--	---------	--	-------------------	--	----------------

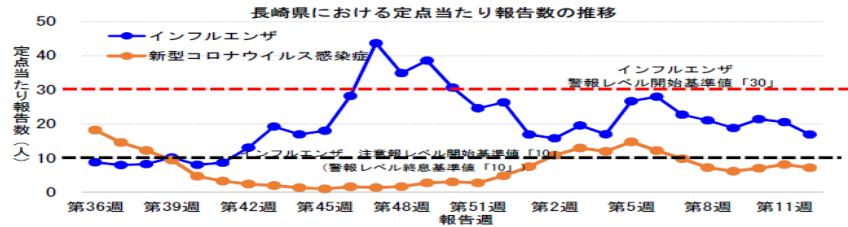
警報レベル基準値は表示のとおり(は設定なし)、注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

お知らせ

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症について

インフルエンザの2024年第12週の定点当たりの報告数は「15.0」で、前週「13.6」よりやや増加しており、注意報レベルとなっています。新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は「3.3」でした。

今後手洗い、手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。



咽頭結膜熱について

第12週において定点当たりの報告数は「1.5」となり前週よりも減少しましたが、注意報レベルであり、引き続き注意が必要です。本疾病はアデノウイルスによる感染症で、発熱・咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)及び結膜炎を主症状とします。夏季に流行が見られますが、年間を通じて発生します。感染経路は、飛沫感染、手指を介した接触感染です。治療は対症療法となるため、感染予防が重要です。手洗いや手指消毒を励行しましょう。

マダニやツツガムシが媒介する感染症について

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、家庭内に生息するダニとは全く種類が異なります。マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などを媒介し、ツツガムシ類はその名の通りつが虫病を媒介します。春から秋(3月から11月)にかけては、マダニ等の活動が活発になる時期です。

農作業や庭仕事、レジャーなどの野外で活動する際には、

長袖、長ズボンなど、肌の露出を少なくしましょう。

防虫スプレーを使用しましょう。

帰宅時は、服をはたいて家に入りましょう。ダニが吸着していたら無理にとらず、皮膚科等で処置を受けましょう。



麻しん(はしか)について

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2-3日熱が続いた後、39 以上の高熱と発疹が出現します。

近年、海外において、麻しんの流行が報告されており、特にヨーロッパ地域における症例報告数は前年度の30倍以上に急増しています。また、訪日外客数が多い東南アジア地域についても、世界的に麻しんの症例報告数が多い地域の一つとなっています。国内においては、既に海外からの輸入症例が契機と考えられる事例報告もあり、今後、輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念されます。

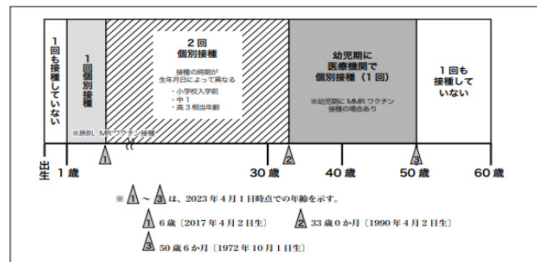
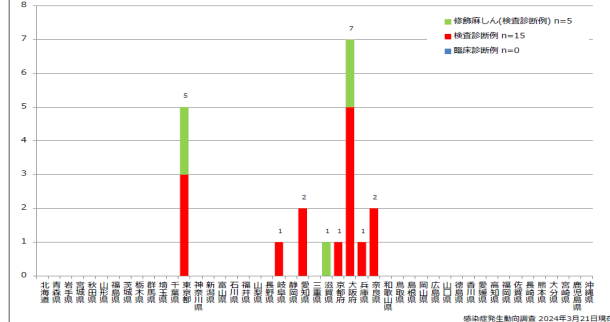
麻しんの予防接種が最も有効な予防法といえます。定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。

参考: 「麻しんの発生に関するリスクアセスメント(2024年第一版)」 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/hassei/12534-measles-risk-assess.html> <https://www.niid.go.jp/niid/ja/hassei/12534-measles-risk-assess.html>

都道府県別麻しん累積報告数 2024年 第1~11週 (n=20)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-11, 2024 (as of March 21, 2024)

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory



* 4 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会配付資料「厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000015044.html> をもとに作成 (2023年8月現在)

1978年10月に始まった麻しん(含有)ワクチンの定期接種状況
日本ワクチン産業協会作成「2023 予防接種に関する Q&A 集」より引用